五十路の歌心、CDに

シニアバンド 満月堂

オリジナル「宇治物語」制作

70年代フォーク限定のカラオケ大会という職場の宴会で意気投合した50歳前後のシニアバンドがオリジナル曲「宇治物語」をCD制作。暮れに宇治市文化センターで開いた手作りコンサート「甦れ！青春！フォーエバー・フォーク・イン宇治」で披露。四季折々の宇治の風情を歌った五十路の叙情的な歌がホールに響き渡った。

余韻残る、宇治のまち讃歌

職場の同僚らで結成した満月堂の面々

「宇治物語」を作ったのはシニアバンド「満月堂」。メンバーは東山五和夫さん（54）、池本つかささん（49）、松下健一さん（48）の3人。

勤め先が同じという職場仲間。リーダー格の東山さん＝宇治市木幡熊小路＝は伊勢生まれ。学生時代にフォークソングに親しんだ。

職場の宴会がきっかけに類は友を呼び、30年ぶりにギターを手に職場バンドを結成。今では時間を見ては病院や作業所、ケアハウスなどでの出前演奏にも出演している。

50歳以上のミュージシャンと運営スタッフによる手作りコンサートとして宇治市福祉サービス公社などが企画した「フォーエバー・フォーク・イン宇治」には前年に引き続いて出演。ブランクを感じさせない五十路の歌心が団塊世代にも支持された。

「満月堂の宇治物語と聞いて、和菓子屋さんが宇治にちなんだ新しいお菓子を発売したのだと間違われて」と苦笑するのは「宇治物語」の作詞作曲を手がけた東山さん。地域SNS「お茶っ人」のニックネーム「ろっぽー」にちなんでつけた芸名は東山三十六峰。

歌は、第2のふるさととなった宇治で人生のつれあいとこれからも生きていく今の心境を歌詞に託した。

宇治橋、黄檗山、宇治十帖、源氏ロマンの宇治川花火、鳳凰堂、茶園――と宇治の風情に不可欠な名所や歴史も登場し、地元育ちの団塊世代からも「歌詞がスッと飛び込んでくる。落ち着いたメロディーで思わず口ずさんでしまう」と好評だ。

CDは演奏のみのものを含めて収録。1枚500円で200枚を限定販売。ライブ会場で人気を呼んだが、希望者には実費で頒布する。問い合わせは宇治市福祉サービス公社（☎28―3150）福祉情報センター糸井まで。【岡本幸一】

宇治に移り住んだ五十路の心境を託したオリジナル曲「宇治物語」のCD

職場のフォーク世代で結成